

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

**2010年度
第3四半期決算
（9ヶ月累計）**

2011年1月31日

株式会社 **東芝**

代表執行役副社長 村岡 富美雄

注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
 - これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
 - また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
 - 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの9ヶ月累計です。
 - 2010年度の組織変更に伴い、セグメント情報における過年度の数値を新組織ベースに組替えて表示しています。
- ※ 携帯電話事業に係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値も組替表示しています。

今回の決算のポイント

- 売上高は、新興国市場での伸長、国内を中心とした景気刺激策の効果等により、為替の影響はあるものの、液晶テレビ、パソコン、半導体を中心に増収
 - 売上高 4兆6,696億円（対前年同期 +2,096億円, +4.7%）
- 営業損益は、第3四半期累計期間として、過去最高を記録
 - 営業損益 1,423億円（対前年同期 +1,257億円）
 - 税引前損益 880億円（対前年同期 +1,293億円）
 - 当期純損益 402億円（対前年同期 +1,085億円）
 - 営業損益は、デジタルプロダクツ、電子デバイス、社会インフラ、家庭電器の4セグメントいずれも黒字
- 有利子負債は、対前年同期で大幅削減
 - 有利子負債 1兆1,872億円（対前年同期 ▲2,038億円）
 - D/Eレシオ 153%（対前年同期 ▲36%）

概要 対前年同期

単位:億円

摘 要	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	差 対09年度
	売 上 高	46,696	44,600
営 業 損 益 %	1,423 3.0%	166 0.4%	1,257 2.6%
税 引 前 損 益 %	880 1.9%	-413 -0.9%	1,293 2.8%
当 期 純 損 益 %	402 0.9%	-683 -1.5%	1,085 2.4%
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	9円49銭	-17円36銭	26円85銭

セグメント情報 対前年同期

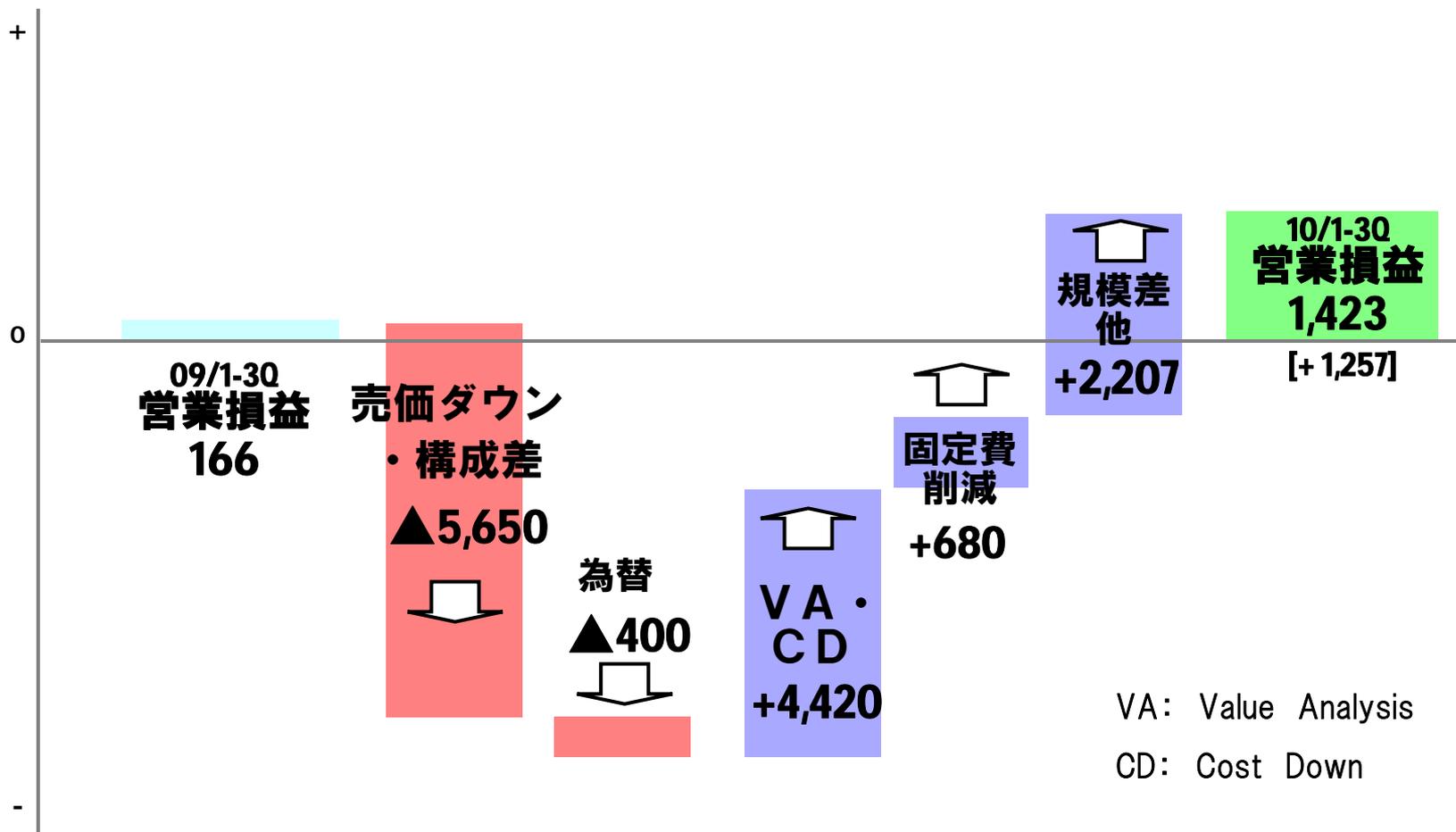
単位:億円

売上高	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	差
			対09年度
デジタルプロダクツ	18,176	16,514	1,662
電子デバイス	10,071	9,259	812
社会インフラ	14,952	15,569	-617
家庭電器	4,463	4,275	188
その他	2,635	2,483	152
連結計	46,696	44,600	2,096

営業損益	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	差
			対09年度
デジタルプロダクツ	145	175	-30
%	0.8%	1.1%	-0.3%
電子デバイス	827	-419	1,246
%	8.2%	-4.5%	12.7%
社会インフラ	464	559	-95
%	3.1%	3.6%	-0.5%
家庭電器	41	-87	128
%	0.9%	-2.0%	2.9%
その他	-65	-54	-11
%	-2.5%	-2.2%	-0.3%
連結計	1,423	166	1,257
%	3.0%	0.4%	2.6%

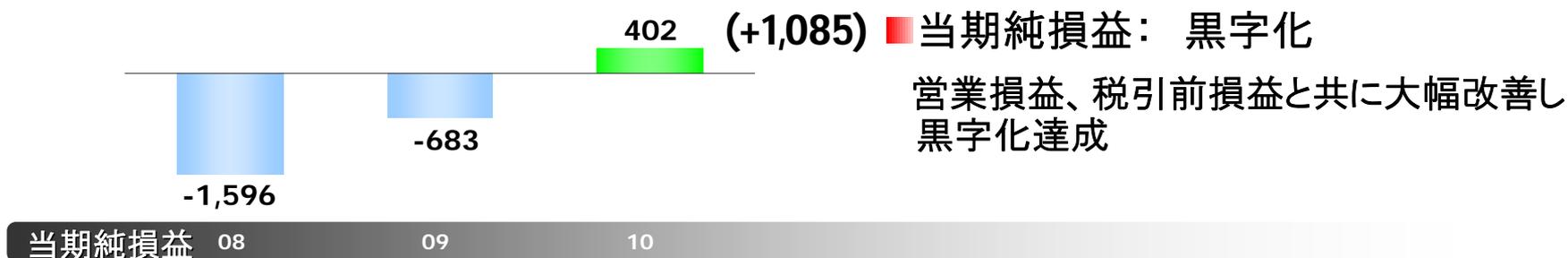
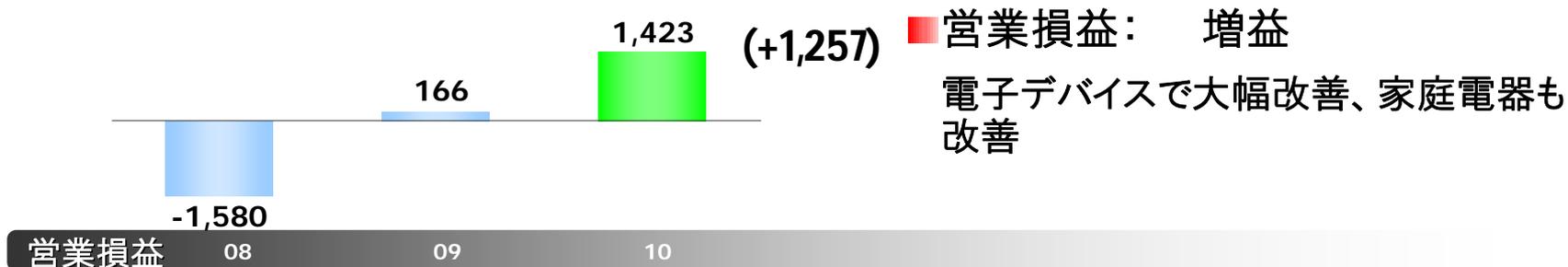
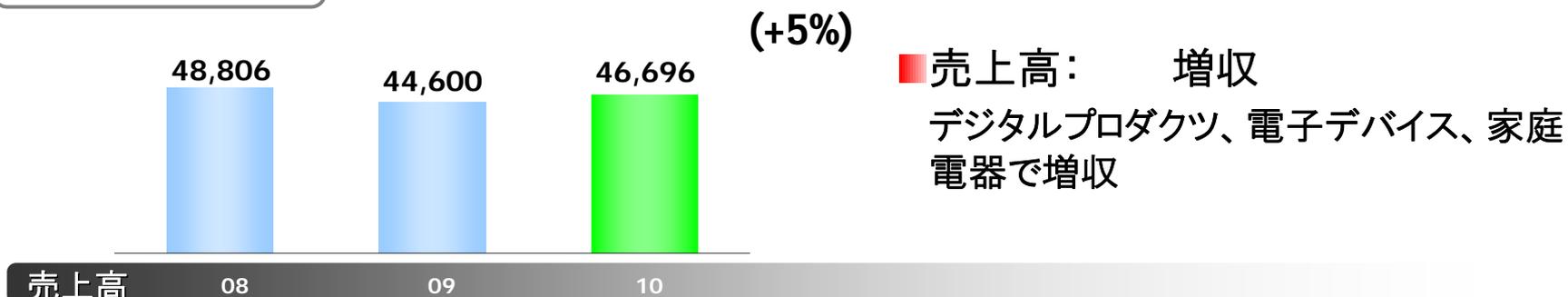
営業損益分析

単位: 億円
(対09年度)



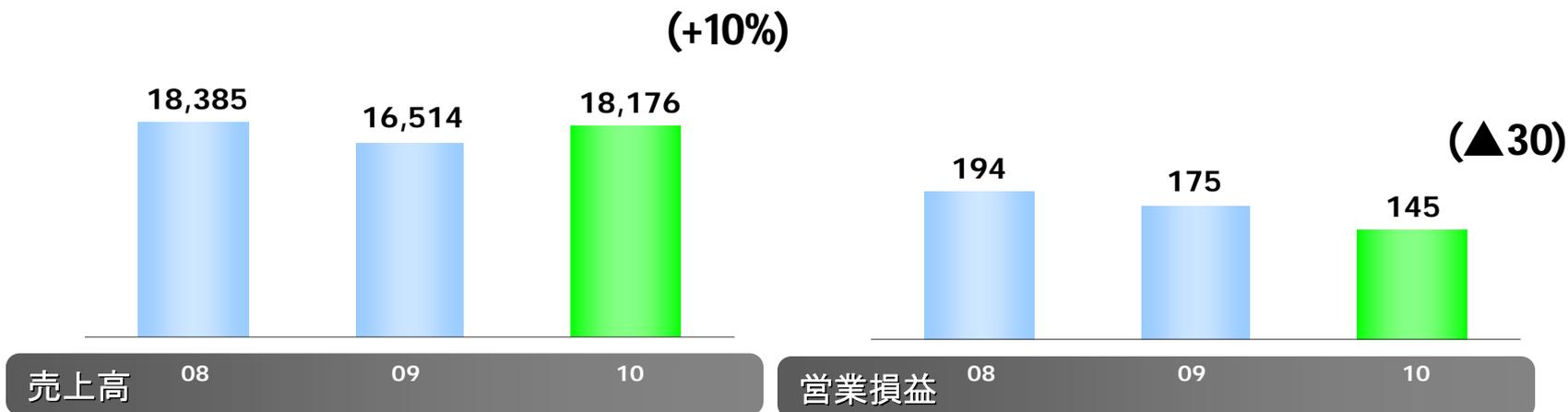
決算レビュー

単位：億円
(対09年度)



デジタルプロダクツ

単位: 億円
(対09年度)



■ 液晶テレビ、パソコンの伸長により
全体で増収

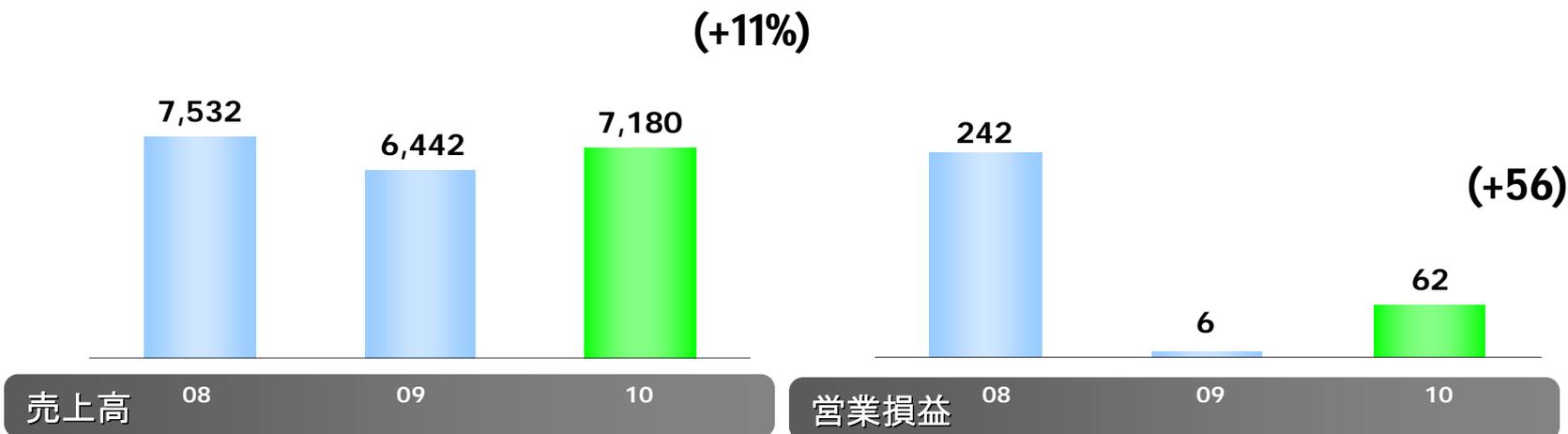
■ 液晶テレビ、パソコン、流通・事務機器
が増益になったものの、記憶装置
(ハードディスク装置、光ディスク装置)が
価格低下などで悪化し 全体で減益

※ 携帯電話事業は、米国会計基準に基づき、非継続事業として
取り扱われるため、売上高、営業損益には含まれておらず、
過年度の数値も組替表示しています。

■ 液晶テレビは、エコポイント効果などにより増益

パソコン

単位: 億円
(対09年度)



■ 米国、日本、アジアを中心に増収

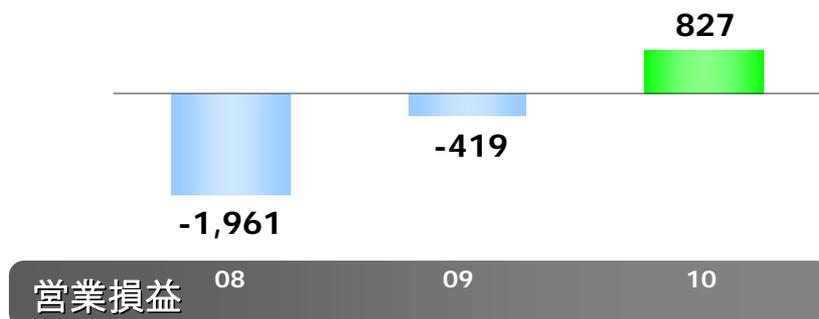
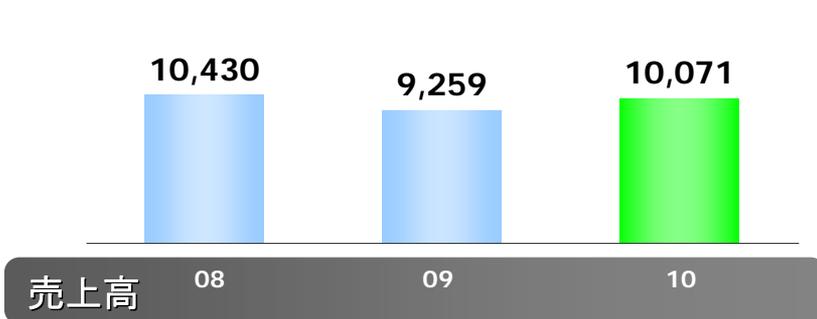
■ 上期の増収基調の継続と調達力の強化による原価低減に加え、原材料価格の下落などにより増益

電子デバイス

単位: 億円
(対09年度)

(+9%)

(+1,246)



■ 携帯機器等の需要拡大等によりメモリ、液晶が好調で 部門全体で増収

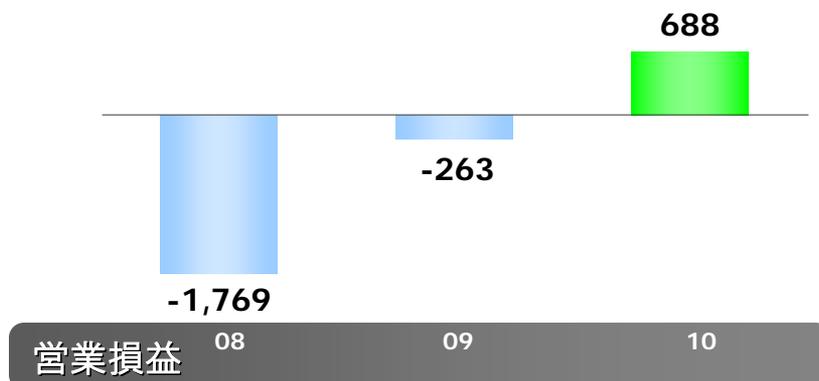
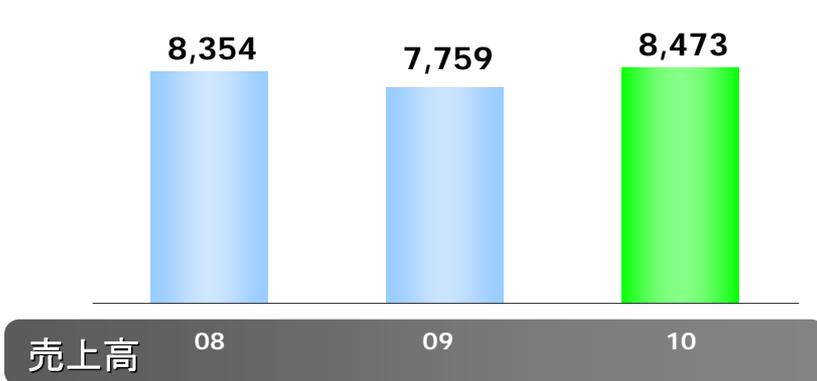
■ 半導体、液晶が共に注力分野の好調に加え、コスト削減等の効果により、部門全体で大幅な黒字を達成

半導体

単位: 億円
(対09年度)

(+9%)

(+951)



■ NAND型フラッシュメモリが
携帯機器向けやSSD等の需要増
により大幅増収、ディスクリートも
堅調で部門全体で増収

■ NAND型フラッシュメモリの増収を
中心に、コスト削減効果等により、
大幅改善

SSD : ソリッドステードライブ
NAND型フラッシュメモリを使用した記憶装置

半導体 内訳

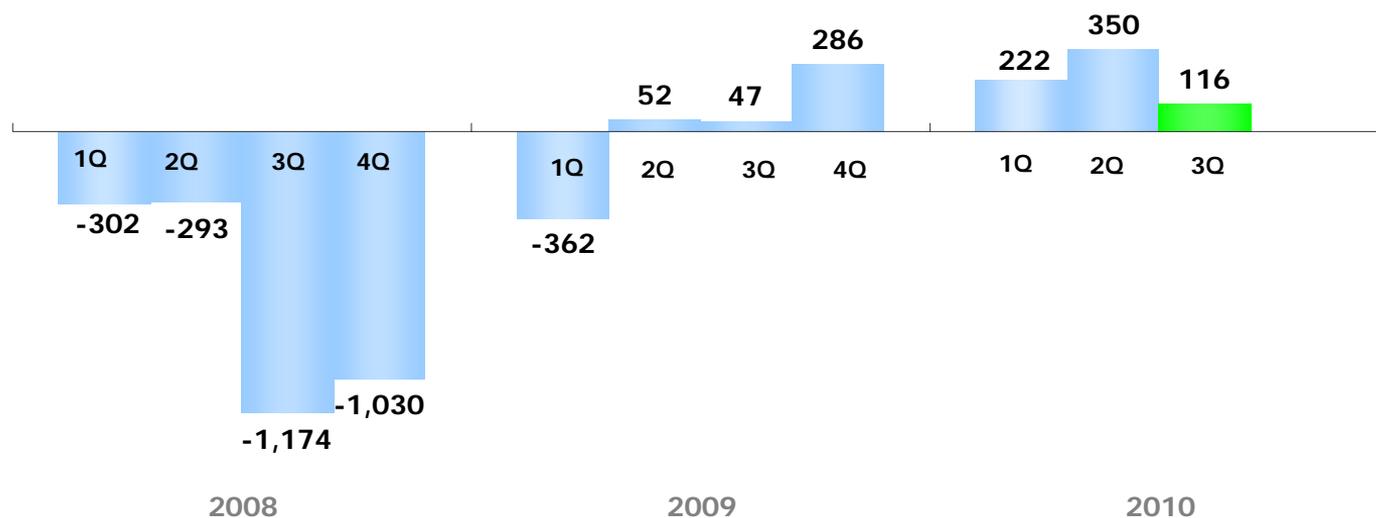
単位:億円

売上高	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	対09年度
ディスクリート	1,486	1,416	70
システムLSI	2,535	2,581	-46
メモリ	4,452	3,762	690
半導体計	8,473	7,759	714

営業損益	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	対09年度
半導体計	688	-263	951
%	8.1%	-3.4%	11.5%

半導体 四半期別営業損益トレンド

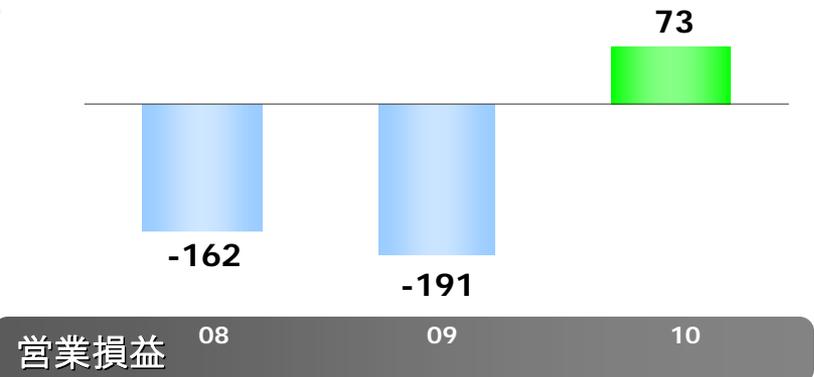
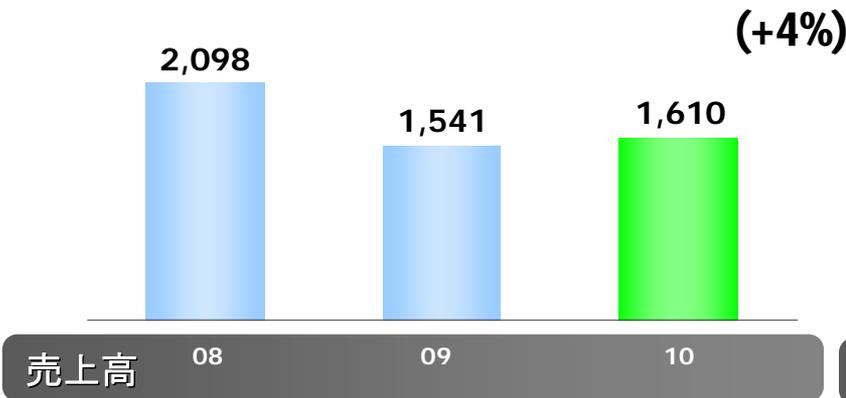
単位:億円



液晶

単位: 億円
(対09年度)

(+264)



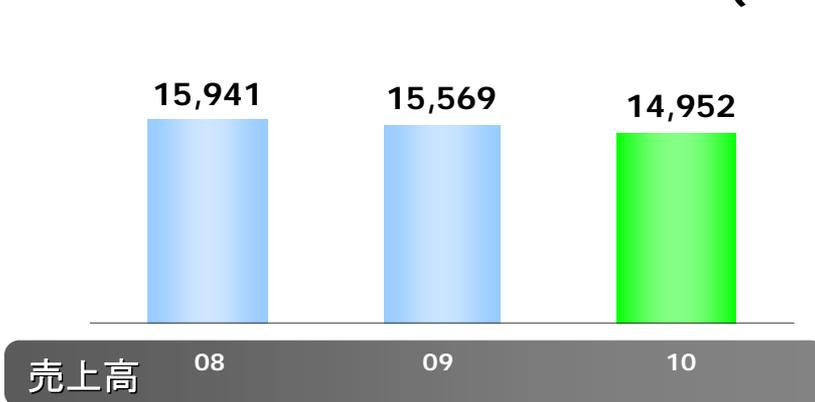
■ 携帯端末向けを中心とした需要の増加により増収

■ 構造改革による体質強化に加え、需要の増加、コスト削減効果等により大幅改善し、黒字化

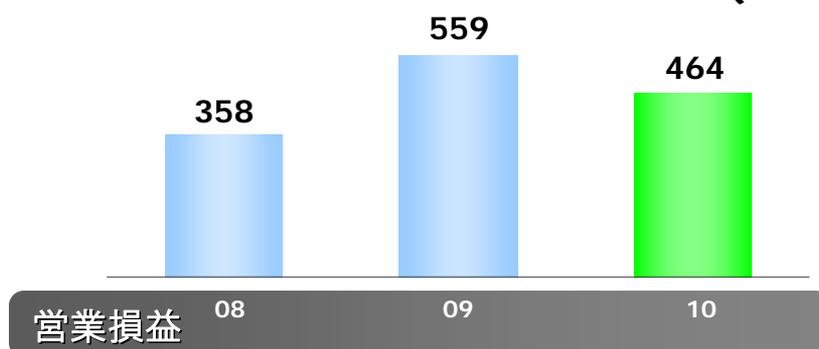
社会インフラ

単位:億円
(対09年度)

(▲4%)



(▲95)

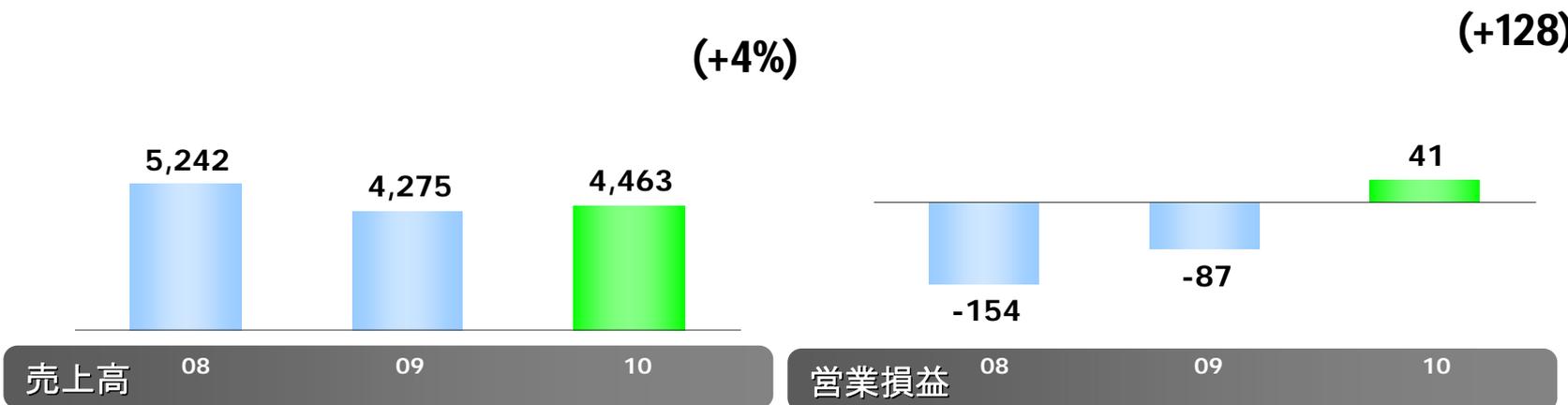


■原子力や交通システムが堅調に推移したものの、電力・産業システム、ソリューションが、前年度の景気低迷時の受注の減少等の影響を受け、部門全体では減収

■電力・産業システム、ソリューションが減収の影響などで減益となるものの、概ね堅調に推移

家庭電器

単位: 億円
(対09年度)



■エコポイント制度の効果継続により白物家電、家庭用エアコンが好調で、部門全体で増収

■白物家電の増収と構造改革の効果等により改善した結果、部門全体で黒字

営業外損益

単位:億円

	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	差
			対09年度
有価証券評価損	-6	-58	52
固定資産売却損益	-61	-179	118
持分法投資損益	88	122	-34
為替差損益	-82	29	-111
金融収支	-185	-207	22
その他	-297	-286	-11
合計	-543	-579	36

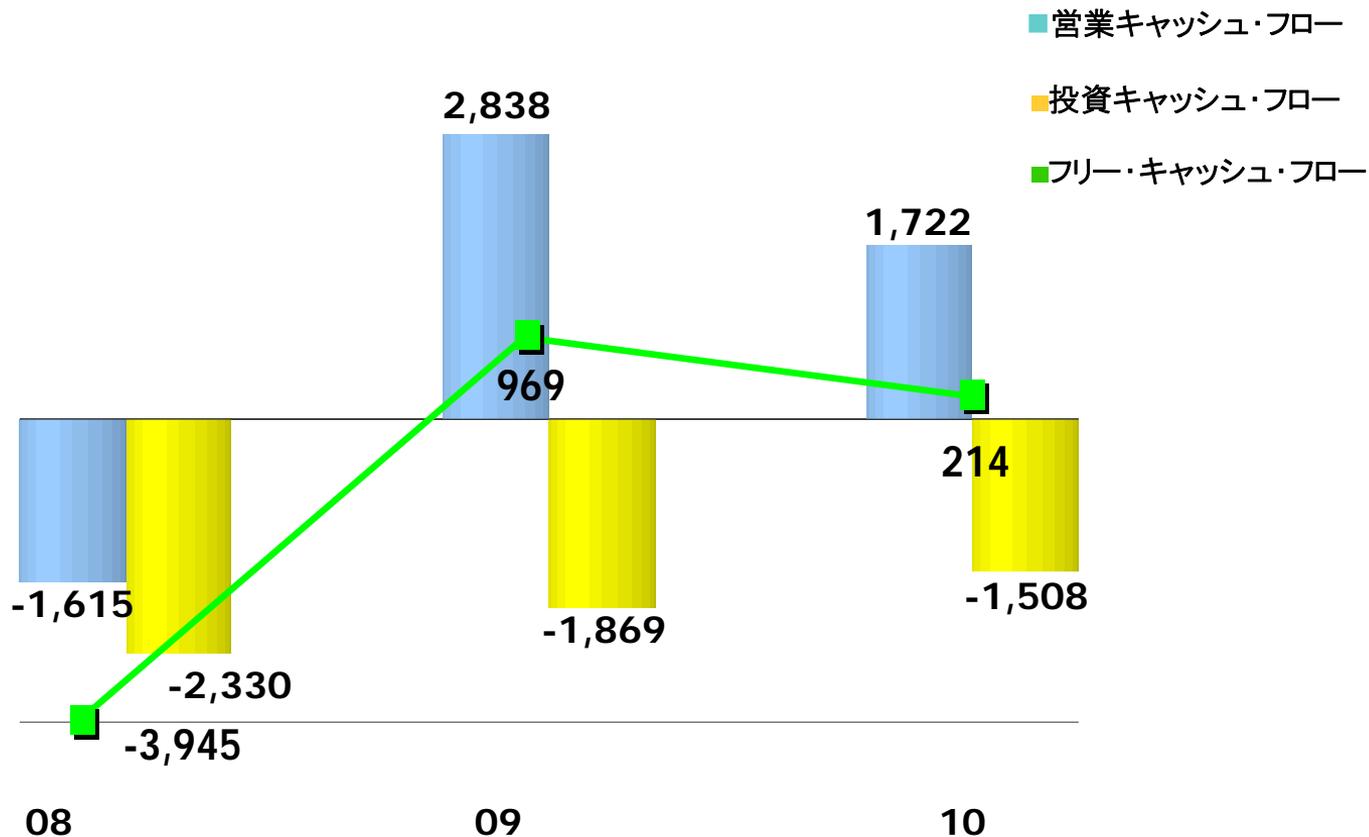
法人税等・非支配持分帰属損益

単位:億円

	10年度 1-3Q	09年度 1-3Q	差
			対09年度
税 引 前 損 益	880	-413	1,293
法 人 税 等	-326	-164	-162
非 継 続 事 業 からの 損 益	-76	-30	-46
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	-76	-76	0
当 期 純 損 益	402	-683	1,085

キャッシュ・フロー

単位:億円



貸借対照表

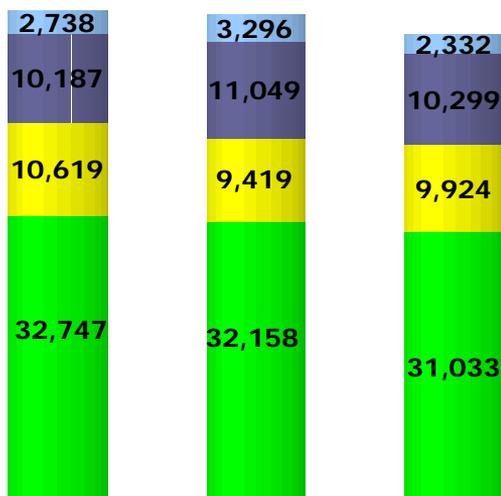
単位:億円

資産

負債・資本

56,291 55,922 53,588

56,291 55,922 53,588



■ 現金同等物

■ 売掛債権

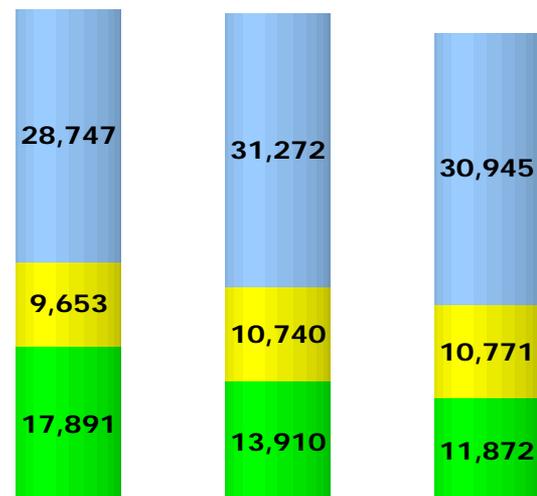
■ 棚卸資産

■ その他

■ その他

■ 資本合計

■ 有利子負債



08/12末

09/12末

10/12末

08/12末

09/12末

10/12末

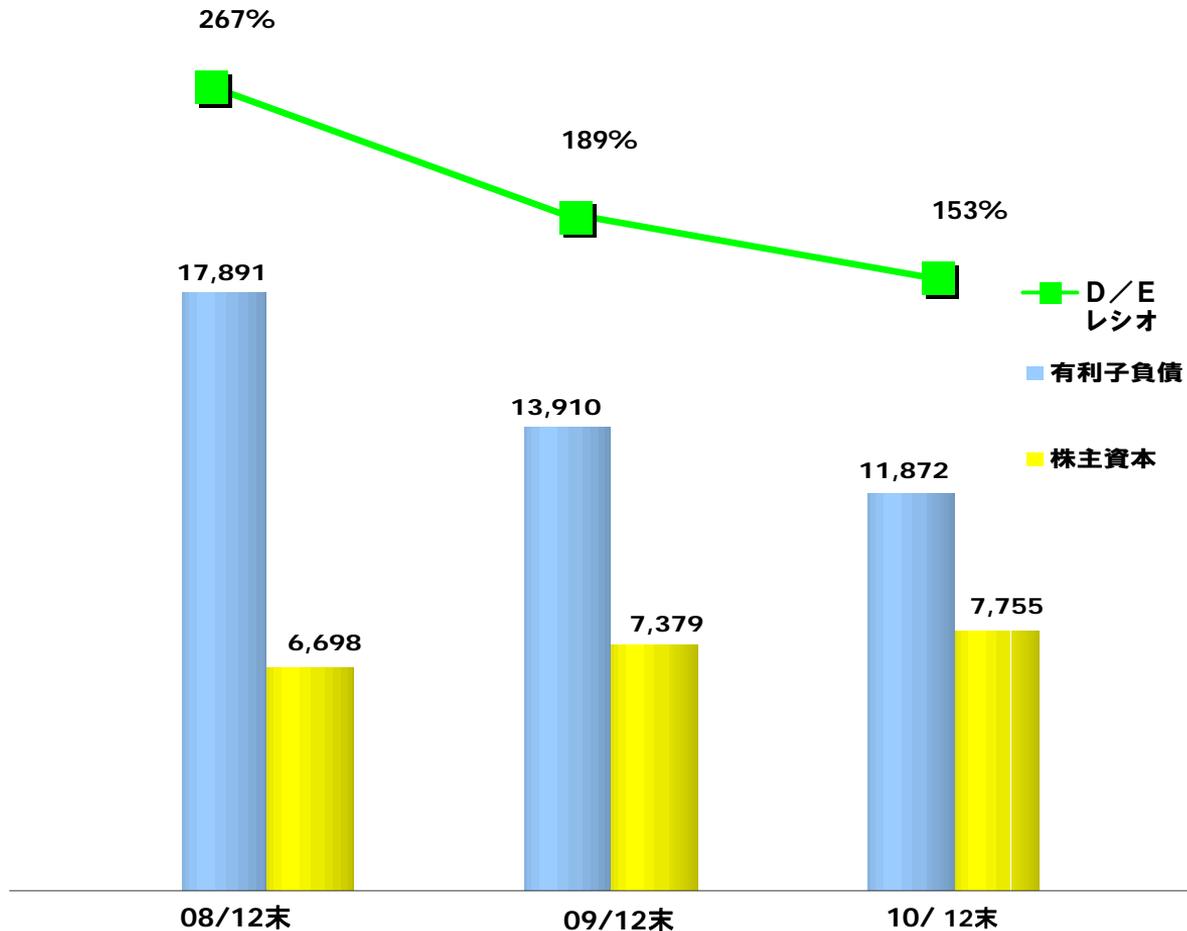
資本の部

単位:億円
(対10/3末)

	10年 12月末	10年 3月末	増減 (10年3月→12月)
資 本 金	4,399	4,399	0
資 本 剰 余 金	4,009	4,477	-468
利 益 剰 余 金	4,538	3,754	784
その他の包括損益累計額	-5,177	-4,643	-534
自 己 株 式	-14	-13	-1
株 主 資 本	7,755	7,974	-219
非 支 配 持 分	3,016	3,302	-286
資 本 合 計	10,771	11,276	-505
株 主 資 本 比 率	14.5%	14.6%	-0.1%

D/Eレシオ

単位:億円



概要 第3四半期

単位:億円

摘 要	10/3Q	09/3Q	差
			対09/3Q
売 上 高	15,885	15,633	252
営 業 損 益	375	145	230
%	2.4%	0.9%	1.5%
税 引 前 損 益	193	61	132
%	1.2%	0.4%	0.8%
当 期 純 損 益	124	-106	230
%	0.8%	-0.7%	1.5%

セグメント情報 第3四半期

単位:億円

売上高	10/3Q	09/3Q	差
			対09/3Q
デジタルプロダクツ	6,634	6,358	276
電子デバイス	3,165	3,156	9
社会インフラ	4,808	5,036	-228
家庭電器	1,516	1,426	90
その他	852	880	-28
連結計	15,885	15,633	252

営業損益	10/3Q	09/3Q	差
			対09/3Q
デジタルプロダクツ	27	69	-42
%	0.4%	1.1%	-0.7%
電子デバイス	172	-66	238
%	5.5%	-2.1%	7.6%
社会インフラ	142	163	-21
%	3.0%	3.2%	-0.2%
家庭電器	39	-12	51
%	2.6%	-0.8%	3.4%
その他	-7	-6	-1
%	-0.9%	-0.6%	-0.3%
連結計	375	145	230
%	2.4%	0.9%	1.5%

概要 10年度業績見通し

単位:億円

摘 要	10年度 今回見通し	10年度 前回見通し	差異	09年度 実績	差異
売 上 高	66,000	70,000	-4,000	62,912	3,088
営 業 損 益	2,500	2,500	0	1,252	1,248
%	3.8%	3.6%	0.2%	2.0%	1.8%
税 引 前 損 益	1,900	1,500	400	344	1,556
%	2.9%	2.1%	0.8%	0.5%	2.4%
当 期 純 損 益	1,000	700	300	-197	1,197
%	1.5%	1.0%	0.5%	-0.3%	1.8%
基 本 的 1 株 当 たり 当 期 純 損 益	23円61銭	16円53銭	7円08銭	△4円93銭	28円54銭

※ 法人税率変更の影響は織り込んでおりません

セグメント情報 10年度業績見通し

単位:億円

売上高	10年度 今回見通し	10年度 前回見通し	差異	09年度 実績	差異
デジタルプロダクツ	24,000	26,300	-2,300	22,632	1,368
電子デバイス	13,700	13,800	-100	12,700	1,000
社会インフラ	23,200	25,600	-2,400	23,190	10
家庭電器	6,100	6,000	100	5,798	302
その他	3,600	3,700	-100	3,456	144
連結計	66,000	70,000	-4,000	62,912	3,088

営業損益	10年度 今回見通し	10年度 前回見通し	差異	09年度 実績	差異
デジタルプロダクツ %	200 0.8%	300 1.1%	-100 -0.3%	213 0.9%	-13 -0.1%
電子デバイス %	900 6.6%	900 6.5%	0 0.1%	-204 -1.6%	1,104 8.2%
社会インフラ %	1,400 6.0%	1,500 5.9%	-100 0.1%	1,372 5.9%	28 0.1%
家庭電器 %	50 0.8%	30 0.5%	20 0.3%	-54 -0.9%	104 1.7%
その他 %	-50 -1.4%	-180 -4.9%	130 3.5%	-77 -2.2%	27 0.8%
連結計 %	2,500 3.8%	2,500 3.6%	0 0.2%	1,252 2.0%	1,248 1.8%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>